



つくば市立栄小学校

さかえ小 ニュースレター

No.21

R7.6.24

One for all, all for one. ～一人はみんなのために みんなは一人のために～

〔児童数〕 295 名

学校教育目標:認め合い、学び合い、自分で考え行動する児童の育成 創作意欲にあふれています ～図工 作品づくり～

1年生が昇降口前のアスファルトの凹凸の上に画用紙を置き、その上から色鉛筆でなぞっていました。「これ、にじ色の波だよ!」と画用紙に浮き出た不規則な模様を満足顔で教えてくれました。一方、3年生は、光を利用した飾りづくりに取り組んでいました。下絵のデザイン、色の組み合わせや濃淡など、光の表現方法をそれぞれ工夫しながら取り組んでいました。創作意欲あふれる小さな芸術家たちによる作品づくり、子供たちならではの発想が素晴らしいです。



活動に夢中! ～クラブ活動～

23日(月)、クラブ活動が行われました。ネットスポーツクラブは体育館でソフトバレーボールや卓球、バドミントンを、科学クラブは顕微鏡を使って身近な植物の観察を、イラスト工作クラブは好きなイラストを自由に描いていました。どのクラブも、自分たちで用具や道具を準備し、活動時間を惜しむかのように夢中になって活動していました。



願いよとどけ! ～図書ホールに七夕かざり～

図書ホールに、2階フロアまで届く大きな七夕かざりが出現しました。これから、子供たちが将来の夢などの願いを書いた短冊を作成し、一人一人掛け付けていきます。

七夕の文化は奈良時代に中国から伝わり、江戸時代に五節句の一つとして庶民に広がったといわれています。本来は、お供え物をして裁縫や芸事などの上達を祈る年中行事だったようですが、次第に今のようにな変わっていききました。

短冊に託された素直な願いが叶いますように…。

